

教育会だより

5

第80回赤彦祭 碑前祭・記念講演

「なぜ赤彦祭が80年間続いてきたか

～新しい方向を求めて～」

諏訪教育会・富士見町教育委員会は10月7日(土)、富士見公園と富士見町コミュニティ・プラザにおいて「第80回赤彦祭」を開催しました。

心配されていた雨もあがり、碑前祭の前に講師の小口明先生より富士見公園内の歌碑説明をしていただきました。ここは、アララギ派歌人ゆかりの公園です。伊藤佐千夫・島木赤彦・斎藤茂吉・森山汀川の歌碑があり、参加者から「歌碑のいわれや設置のなれそめを知ることができてありがたい。富士見公園の大切さを改めて感じる事ができた。」等の温かい声をいただきました。

碑前祭では、参列者全員が白い菊の花を献花し、岳風会による赤彦の代表作「水海之冰者・・・」の朗詠と赤彦祭記念短歌展入選作品の朗詠が会場の富士見公園に響き渡りました。



歌碑説明



赤彦歌碑に献花する参列者



脇坂富士見町教育長挨拶

【記念講演】

会場を富士見町コミュニティ・プラザに移し、赤彦研究会名誉会長の小口明先生から「なぜ赤彦祭が80年間続いてきたか～新しい方向を求めて～」と題して、ご講演をいただきました。80回の節目ということで、研究の集大成とも言える大変貴重な資料を用意して下さい、赤彦祭の歴史、今後の方向についてお話をして下さいました。

初めて諏訪の地に赴任された先生方や、赤彦にゆかりのある方々など約80名の方々にご参加いただき、講師

である小口先生の熱い講演をお聞きすることができました。



第4回社員総会 開催される

10月23日(月)、第4回社員総会が行われました。

主な協議及び連絡報告は以下の通りです。

藤木教育会長あいさつ

台風による昨夜の雨で茅野の方は上川の増水で通行止めがあり、被害の出た家庭、先生方の通勤など大変だったとお察しします。

記念すべき80回赤彦祭が行われた。講師の小口明先生から、諏訪の地にゆかりのある様々な文学作品について調べまとめた大変貴重な資料もいただいた。また、湖北の季節大学で講演いただいた北澤和男先生も、一つのことを徹底して納得のいくまで追究されている。こうした、先輩方が積み重ねてこられた流れが、今の教育会の先生方にも脈々と受け継がれていることを大切にしていきたい。予算に伴う連絡会で各市町村の方々と懇談をもった。先生方が力をつけ、そのことで子どもにも力をつけるよう、貴重なお金を有効に活用してほしいと託された。市町村の支えもあって教育活動が営まれていることを承知し、各学校での教育会の活動も活発にしていきたい。信濃教育会事業のアンケートがきているが、例えば災害補償事業など、会員にとってメリットが大きい事業がたくさんある。様々な事業を理解することが大事。諏訪教育会の事業も同様であるが、プラスになっている事業がどれだけあるかを是非各学校で周知していただきたい。



平成29年度公益社団法人諏訪教育会事業等中間報告

各部中間事業報告 各部長より計画通り事業を進めている様子が報告されました。

【社員からの質疑・意見】

新学習指導要領研修会や、教育会県外視察の補助を受けて、東京での研修会に参加できた。今後もこうした機会をいただき研修を深めたい。

教育会の研修が自校の研修にもつながり、深く感謝している。「探究 諏訪の自然」は親子で語り合い、授業でも使える1冊だと感じている。



中間会計報告 中間報告は、前期までの段階で適正な会計処理がなされていること、今後の具体的な見通しについて報告されました。



【教育会についての意見・要望】

霧ヶ峰自然観察会は魅力の伝わる内容で、100名を超える教員以外の参加があり、公益性の高い活動をしている。今後も公益性の高い活動が増えるよう、工夫していきたい。

夏休みの研修旬間中、図工・美術委員会主催、「いろいろ紙コップ」の親子ワークショップに本校2年目の教員が参加した。たくさんの親子が来て、「やってよかった。」と、教育会に感謝していたそうである。コップはまだあるので興味のある先生は是非やってみてほしい。

連絡

- ・ 諏訪の子どもや教育を語る会 11月25日(土) 多くのご参加をお願いします。
- ・ 教職員バスケットボール大会 2月 3日(土) 教職員の絆を深めましょう。